

五郎兵衛用水 疎水百選に 佐久良の土地 農水省職員ら視察



佐久市の五郎兵衛記念館で五郎兵衛用水の歴史や概要の説明を受ける「疎水百選」の選定委員ら

農業用水などに長年利用されてきた疎水への関心を高めようと、農水省が募集している「疎水百選」に、佐久市の五郎兵衛用水が選定された。同省農水省職員ら十五人が十一日、現地を訪れ、同市の五郎兵衛記念館で概要説明を聞いた。五郎兵衛用水は、佐久市五郎兵衛用水土地改良区が、たかながい用水水道用の

全国で計約四十万あり、農業のほか生態系保全や景観美化に役立っているという。同省は本年度、農業振興や景観などに優れた疎水を「疎水百選」に認定する。六月から八月末まで募集している。五郎兵衛用水は、麓科山のわき水を水源とし、約三百年の歴史を持つ。この日は、同記念館で学芸員がビデオ上映しながら、用水の歴史や概要を説明。その後、資料山ろくの源水池や、川の水を用水路に取り入れるための施設を見学した。「疎水百選」の事務局によると、全国から寄せられた疎水の中から、六月に公表する予定だ。



選定委員による現地調査
(矢嶋・泉公園附近)

【信濃毎日新聞 2005年(平成17年)8月12日 掲載】

県内5カ所 「疎水百選」に

農水省 歴史・景観など評価

長野・善光寺平用水 中野・八ヶ郷用水 佐久・五郎兵衛用水 立科・塩沢堰 安曇野・拾ヶ堰

農水省は二日、長い歴史や優れた景観を誇る「疎水百選」として、福島県の安積疎水や京都府の琵琶湖疎水など全都道府県の合計百十カ所を初めて選んだと発表した。県内では、長野市の善光寺平用水、中野市の八ヶ郷用水、佐久市の五郎兵衛用水、北佐久郡立科町の塩沢堰（せき）、安曇野市の拾ヶ堰が選ばれた。

疎水はかんがいなどのために造られた水路。選定は過疎化や高齢化で保存や管理が難しくなってきた疎水に興味を持ってもらうのが狙い。

①ネットなどを通じ一般から候補を募集、集まった四百九十九カ所から一般投票で二百八十四カ所に絞り込み、さらに選定

委員会で①用水の機能のために造られた水路。選定は過疎化や高齢化で保存や管理が難しくなってきた疎水に興味を持ってもらうのが狙い。

②歴史や伝統がある

③豊かな生態系がある

④地域コミュニティの形成につながっているなどの観点から選んだ。

認定書は、今年十二月に都内で開かれる政府主催の都市と農村の交流行事「オーライ・ニッポ



「疎水百選」に選ばれた佐久市の五郎兵衛用水

農相が、各地の疎水を管理する土地改良区の代表者に授与する。疎水の詳細はホームページ

tp://www.inak
ajin.or.jp/sosui
で閲覧できる。

【信濃毎日新聞 2006年(平成18年)2月3日 掲載】



開削された当時の水路絵図
(五郎兵衛記念館所蔵)



五郎兵衛用水土地改良区

〒384-2104 長野県佐久市甲1399
TEL.0267-58-2001 FAX.0267-58-2897